

2-①-A ベーシックコースシラバス（改正ガイドラインについて）

- ・2025年3月25日の改正ガイドラインに準拠したシラバス案です。（目次構成や内容は予告なく変更される場合があります。）

項目	内容
番号	R-NET1000
科目名	ベーシックコース 改正ガイドラインについて
対象	中核・現場人材
講師	代表理事 村松 知木 / 副代表理事 森島 正巳
受講数	1プログラム
開講期	令和7年12月～令和8年3月 ※ 4 半期ごとに令和9年9月まで受講可
研修	1本 15分
研修形態	オンデマンド型eラーニング（LMS配信、進捗管理・本人確認付）
研修の目的	本研修は、観光庁が令和6年1月に改正した「観光地域づくり法人（DMO）登録制度に関するガイドライン」の理念を理解し、観光地域経営に必要な基礎的実務を習得することを目的とする。特に、地域DMOにおける人材育成や財源確保といった喫緊の課題に対応できる人材を育成し、持続可能な観光地域づくりを推進する。
ゴール	1. 改正ガイドラインの理念・意図を正しく理解し、自地域の経営戦略に活かせる。 2. マーケティング、財源戦略、DX活用など観光地経営に必要な基本スキルを体系的に習得する。 3. Q&A集やフレームワークを活用し、実務に即した改善策を検討・実行できる能力を身につける。
研修内容	第1章 はじめに 必要要件更新ガイドラインに示された観光庁の理念（意図）の理解、観光地域づくり法人登録制度の意義と期待される役割、最新の観光動向とDMOを取り巻く環境変化（インバウンド回復、地域連携の必要性） 第2章 観光地経営の基礎理解 アウトライン解説（ガイドラインの構造・対象者・期待成果）、観光庁が定める「観光地経営の6要素」の理解（組織経営・人材育成・マーケティング・財源戦略・DX・持続可能性）、各DMO階層（広域・都道府県・地域）の役割と課題比較 第3章 ガイドブックの活用方法 本研修で扱う3種類のガイドブックの位置づけ（観光地経営／マーケティング／財源戦略）、実務における使い方：課題抽出 → 解決策の選択 → 施策実行の流れ、Q&A集・用語集・フレームワーク集の活用方法（会議や研修での参照の仕方）
履修要件	選択式eラーニングテストに合格することが必要です。正解以外を選択した場合は進行できない方式として全問正解で合格とします。
評価の方法 観点	・ eラーニング受講 100%- テスト未受験、欠席、不正行為（なりすまし受験等）は不合格とします。 ・ 受講者アンケートを収集し今後の研修改善に活用します。
参考書	①令和7年3月25日改正 観光地経営ガイドライン、 ②観光地域づくり法人（DMO）による観光地経営ガイドブック（令和6年3月発行）
研修終了後の交流	研修修了者は、他DMOとの情報交換や連携促進を目的とした交流会に参加できます。各地域の取組や課題を共有し、ネットワーク構築を通じてDMOの成長を支援します。